

「湯沢市行財政改革大綱(案)」等に対するパブリックコメントの結果

【湯沢市行財政改革大綱(案)】

No	意見要旨	市の考え方
1	大綱の別紙として、財政推計※を示すことはできないか。 ※歳入、歳出、主な収入減・支出減の要因、地方債残高、借入額	大綱の基本目標Ⅱ(3)に「財政公表の充実」を掲げているとおり、市民に分かりやすく財政状況をお知らせすることは、重要であると認識しています。今後、具体的な取組を進めていく中で、財政推計を含めた多様な財政情報を、分かりやすく提供できるよう工夫していきます。
2	基本目標Ⅱに「強固で柔軟な財政基盤の確立」を挙げているが、改革の目標や効果を数値で示してほしい。	6ページに記載のとおり、本大綱は、これまでのような廃止・削減等を主体とする改革(量の改革)から、仕組みや経営システムを見直す改革(質の改革)にシフトすることを目指しています。数値目標がふさわしい取組については、集中改革プランの中で設定し、進捗管理していきたいと考えています。

【湯沢市集中改革プラン(案)】

No	意見要旨	市の考え方
1	人事評価制度は、業務実績・職務能力・給与等を連動させるものだと認識しているが、あくまでも目的は、個人能力・組織力を向上させ、業務目標を達成することにあるので、留意してほしい。	プランの基本目標Ⅰの4(No.1)に記載のとおり、人事評価制度は目標管理と連動させることが前提と考えていますので、鋭意、取組を進めていきます。
2	図書館の民間委託について、現状(直営)の営業曜日や営業時間をそのまま移行せず、市民ニーズを調査した上で民間委託するべきである。	営業時間等は、具体的な取組を進めていく中で検討する予定ですが、市民ニーズを把握することの重要性については、ご指摘のとおりだと考えています。
3	公共施設の民間委託は、経費節減やサービスの向上が期待できる反面、利用者と管理者(委託会社)間で意思疎通の不足が懸念されるので懇談会などを開催してはどうか。	アウトソーシングに関する指針の中で、民間委託等の導入に当たっては、サービス水準の維持・向上に繋がることを重要視しており、併せて、委託した後でも市が継続的に業務状況を監視することにしていますので、懇談会等の必要性は、個別施設の状況を見ながら必要に応じて検討していきます。
4	参加と協働に関連して、市民への情報提供手段は、町内会長や行政員といった従来の情報フローに偏っているように感じる。若い世代の参加意識が高まるように、Facebook等を通じて情報を提供したらどうか。	高齢層や若年層に限らず幅広い世代の方々に情報を正確に伝えることで、参加意識を高めていただくことが重要と考えており、現在は、広報誌を始めとする従来型的手法に加え、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(Facebook・LINE)を活用して情報提供を行っています。 参考URL(湯沢市のソーシャルメディア一覧) http://www.city-yuzawa.jp/information/1057.html